

ふれあい

第59号(平成27年11月1日)
 阿品台コミュニティ事務局(TEL39-4338)
 阿品台地区人口・世帯数(平成27年10月1日現在)
 人口8,180人(209人減) 男3,794人 女4,386人
 世帯数3,429世帯(31世帯減)・高齢化率31.0%(1.8%増)
 ()内の数値は平成27年2月1日との比較

地域で伸ばそう!「阿東っ子」 あがし

学習支援活動「木曜塾」とは?

従来の学習支援活動とは違った内容で、平成26年11月に発足しました。阿品台東小学校4年生～6年生を対象に木曜日の午後2時45分から午後4時10分まで阿品台市民センターで、東小学校から配布されたプリントに取り組みます。プリントの内容は学力の底上げを目的とした問題集で国語と算数、必然的に復習に重きを置いた内容となっています。ボランティアの皆さんが現在17名で児童を支えています。



廿日市市立阿品台東小学校 教頭 吉本俊英

1. 学習支援活動「木曜塾」の目的

- ①子ども達が放課後安心して楽しく過ごすことができる居場所をつくる。
- ②温かい人の関わりの中で豊かな学びを経験させるとともにコミュニケーション力を育む
- ③大人、異学年の児童の活動の中で社会生活上必要なルールを身につけさせる。
- ④既習学習の復習や宿題の支援を主な活動内容とし、学習の仕方や習慣を身につけさせる。

2. 「木曜塾」の現在の具体的内容と現況

- 現在4年生5人、5年生14人、6年生1人のメンバーで1学期14回実施している。
- 時間は、14:45～16:10である。
- 登録のボランティアさんは17名おられる。
- 活動の流れ

1 荷物の片付けと出席確認	4 宿題
2 挨拶	5 ボランティアからの一言
3 既習学習の復習・・・算数と国語の学習プリント (学校・ボランティアが準備)	6 挨拶
	7 掃除、片付け

3. 「木曜塾」の実施体制

昨年度から引き続き学校支援ボランティアを地域から公募し、その中で「木曜塾」に参加していただいている。

4. 現状の問題点

- 児童がだんだん雰囲気になれてきて、集中して勉強できない時がある。
- 児童の変容や学習内容の共有等、今後も学校との連携が重要である。

5. 今後の対応

もっとボランティアさんの人数が増えてほしい。児童の数も増えてほしいので、積極的に児童には参加してほしい。

6. 阿品台コミュニティ(住民)への期待・要望

「木曜塾」に限らず、学校支援ボランティアとして気軽に児童の学習の支援をしていただきたいです。

学校支援ボランティアの活動は「できる人ができることを、できる時」に行う活動です。学校に来られて励ましてくだされれば児童はとても喜びますので、まずは参観してください。

木曜塾を 担当して

阿品台2丁目
寺本 宏身

木曜塾に通っている子に「木曜塾は何をやる場所？」と質問したらおそらくその子は「勉強する場所です」と答えるでしょう。そうです。木曜塾は勉強する場所です。遊ぶ場所ではありません。

木曜塾は阿品台市民センター3階の第8研修室で行っています。毎週木曜日、定刻の午後2時45分になると子供たちが次々に集まってきました。余程の理由がない限り欠席や遅刻をする子はありません。その日の当番の子が「起立、姿勢、礼！」と号令を掛け、全員が「お願いします！」と大きな声であいさつして始まります。

子供たちは早速、国語2枚、算数2枚のプリントの問題に取り組みます。プリントは学校側が用意してくれます。4年生には3年生の時に習った問題、5年生には4年生の時に習った問題を出しますから難しく解けないという問題はありません。でも中には間違う子もいます。その時は地域から参加したボランティアのスタッフが相談に乗り正解に導きます。全部正解が出たところで花丸の100点を付けてあげます。ですから子供たちが取り組んだプリントは全部100点満点です。そのプリントをファイルに綴じて1学期が済んだところで保護者の方に見てもらいます。木曜塾を始めて気が付いたこと、それは、学校の時間割では1時限が45分間になっているせいか、子供たちの集中力が45分間しか持たないことです。プリントが済んだあとは学校の宿題をしますが、そのあとの20分間ほどは自由時間になっています。集中力が切れた子にさらに勉強を押し付けるのは無理があります。

この自由時間にボランティアのスタッフがワンポイントレッスンをしています。たとえば「秋桜」と書いて「コスモス」と読むとか「赤い花」「高い山」「広い海」のように形容詞には「い」が付くとか、学校ではまだ習わないことを教えています。木曜塾は昨年の11月にスタートし丸1年が経過しました。これからも長続きするようあまり無理をせず力まずにやっつけていこうと思っています。

最後にボランティアスタッフの募集です。堅苦しい手続きは必要ありません。木曜塾は面白そうだなと思われたいら木曜日の午後、気軽に会場をのぞいてみてください。

◆現場の状況

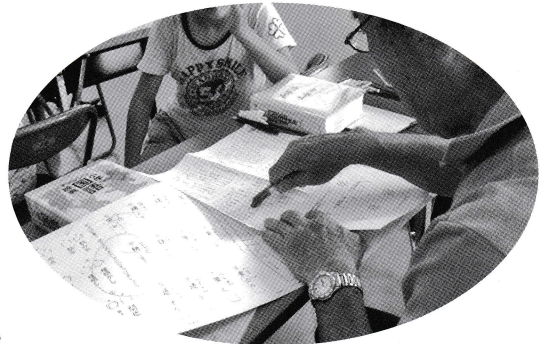
木曜塾の開始時間前に教室に入った児童は当日に出た宿題をしていて、全員揃った時点で、開始の挨拶、プリントの作成となり、ボランティアの皆さんと相談しながら正解にたどりつきます。時間が余った児童は宿題の続きや自分の趣味、仲間やボランティアさんとの会話等で過ごします。午後4時前に終了挨拶、当番の子供達による掃除で木曜塾が終わります。

◆ボランティアの皆さんの声

- 子供達に直接アドバイスや指導ができるのでやりがいを感じます。
- 参加している子供達に勉強する習慣がついてきたように感じます。
- 作成したプリントの内容確認から正解へ導くアドバイスをすることで子供達の喜ぶ顔を見ると嬉しくなります。

◆子ども達の反応

- 先生は優しくしっかり教えてくれるので来るのが楽しみです。
- 友達ができた。
- この時間を利用して宿題もしっかりやっています。
- 他の学年の人達や先生(ボランティア)と色々な会話ができるのが楽しい。



楽しい一日!



◆木曜塾ではこんな事もやりました

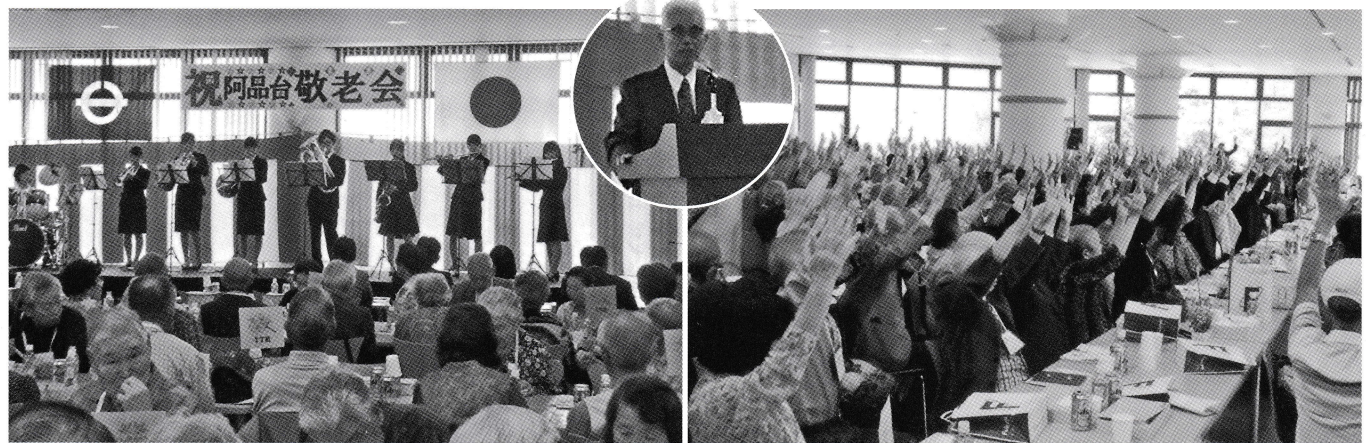
夏休み最初の木曜日(7月23日)、子ども達20名、ボランティア9名、先生4名が参加し、みんなでカレーを作って食べました。

「木曜塾」も勉強だけでなく楽しめる居場所作りも必要だ！とのことで開催されました。笑顔いっぱい！わいわいがやがや！美味しい昼食をいただきました！！

第36回阿品台夏祭り 8月1日(土) 阿品台東小学校グラウンドで第36回 阿品台夏祭りが開催され、今年も若い人の参加が目立ち元気ある祭りとなりました。舞台も昨年より広く、ダンス、踊り、和太鼓などが次々と披露され、全てのアトラクションがステージ上で可能となりました。各町内会や日本赤十字広島看護大学、商店などの夜店も賑わい楽しい夏の夜を過ごしました。



阿品台敬老会 9月21日(祝)の敬老の日、今年も日赤看護大学食堂において、阿品台地区75歳以上の対象者986名の内240名が出席され、眞野市長をはじめ多くの来賓を迎え開催されました。日赤看護生による吹奏楽、東保育園の園児による歌とダンスに笑顔がこぼれていました。最後に全員でリフレッシュ体操をして楽しいひと時をすごされました。



復活!

納涼 そうめん流し

暦の上では立秋の8月8日(土曜日)猛暑の中でしたが、阿品台市民センター主催による「そうめん流し」が、10時から同会場で開催されました。コミュニティからは文化部、女性部、青少年部が協力、50数名の参加で賑わいました。

最初はそうめん流しで使う器、と箸作り。事前に用意され切断された青竹を瀬戸物の破片で切り口のバリを成形して滑らかにする作業。怪我をしないように心掛けながら子供から大人まで真剣な面持ちで取り組んでいました。

自分用の器と箸が出来た後、待っていたそうめん流しの始まり。そうめんに混じってプチトマトのオプション付きで子供たちは大はしゃぎ。自作の器と箸は各自が思い出に持ち帰り、夏の楽しい半日でした。

文化部、女性部、青少年部



体育部・青少年部

阿品台ウォーキング&宝探し

○日 時:平成27年6月28日(日)9:00~12:00

コース:①4.1kmコース(34名)、②2.5kmコース(87名)の大人と子供121名が東小学校に集合し、ウォーキング講座・準備体操の後、各コースに分かれて公園に元気よく出発しました。ゴールの阿品公園までウォーキングをしたあとは、子供たちの宝探しです。参加者全員お土産をゲットできました。



文化部・女性部

母の日カーネーションコンサート

○日 時:5月10日(日)13:30~15:0

○場 所:阿品台市民センター 参加者70名

○出 演:アルンバ広島(7名)

アルンバとはインドネシア語のアルナン・ルンプル・バンブーの略で「竹の波の群れ」と言う意味で、竹の楽器を使った演奏でした。竹を組み合わせた穴を空けたりと工夫され、奥深い音色に皆さん感心していました。

日帰り研修旅行

~大河ドラマ「花燃ゆ」に誘われ~

松陰神社から武家屋敷を巡る旅

○日 時:5月25日(月)8:00~19:00 参加者84名

松陰神社は吉田松陰を祭神とする神社で、境内には多くの逸材をだした当時のままの「松下村塾」が残る。「花燃ゆ大河ドラマ館」ではゆかりの人物の自己紹介コーナーなど解りやすく紹介されていました。また、路地に連なる武家屋敷も散策しました。



サマーコンサート

○日 時:8月23日(日)13:30~15:30

○場 所:阿品台市民センター 参加者75名

第一部「おんがく・こうじょう」の5名は徹底的に音を遊ぶ「音遊び」をテーマに、身の周りにある鍋やフライパン等を使用してのパフォーマンスに子供たちを笑いに包んでくれました。第二部「エル・カプジョ」の3人はバンドネオン、バイオリン、ピアノによる演奏で、情熱大陸、黒ねこのタンゴ、リベルタンゴなど夏にふさわしいタンゴを中心とした曲を披露、一部とのコラボもあり暑い夏の楽しいひと時となりました。



公衛部

花いっぱい運動(公衛部)

○日 時:5月16日(土)10:00~

○場 所:阿品台市民センター前

30個のプランターに春の花としてサルビアとマリーゴールドを植え公民館の入口に綺麗に並べました。可愛い助っ人も大活躍して順調に完了しました。そして、後の維持管理を公民館の皆様にはバトンタッチ。今年もまたお世話になります。



青少年部

手焼きもみじまんじゅう体験in宮島

○日 時:8月23日(日) 参加者24名

○場 所:宮島伝統産業会館

予め用意された生地からチョコとあんこを入れての焼きあげからラッピングまでを慣れない手つきでこなし、出来上がったからお口の中へ。残ったもみじまんじゅうはお土産として持ち帰り。思い出作りの半日でした。

